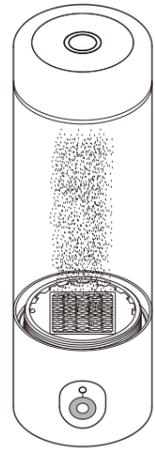


取扱説明書

この度は、高濃度水素水生成器「TRINITY-H₂® platinum 1200」をお買い上げいただきありがとうございます。
 ご使用前に本書をお読みになり、正しくお使いください。
 お読みになられた後は、いつでも参照できるように保管してください。



●もくじ

▲安全上の注意

- ①各部の名称と商品仕様
- ②お使いになる前に
- ③使いかた
- ④お手入れのしかた
- ⑤こんなときは.....

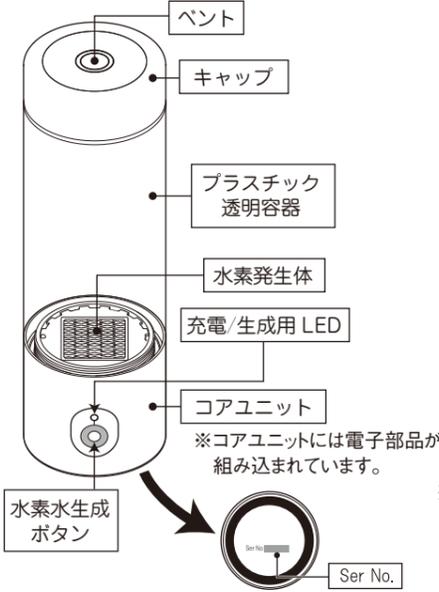
保証書付 取扱説明書内に保証書がついています。

トリニティー水素水®プラチナ1200 保証書			
型式	AWH003-Q	※お買い上げ日	保証期間
		年 月 日	お買い上げ日より 1年
※お客様	ご住所・ご芳名	様	
	〒		
※販売店	住所・販売店名	様	
	〒		
※印欄は記入ください。未記入の場合 1年以内であっても無料修理を受けられないことがあります。			
本書は下記保証規定内容で無料修理させていただくことをお約束いたします。 1. 保証期間は、お買い上げの日をもって保証期間の開始日とし、1年間といたします。 (1) 保証範囲はボトル本体、AC-DCアダプタ、充電スタンドとし、消耗交換品である水素発生体、内蔵電池、トリニティーセラミックは含みません（但し、不良の場合に限り保証範囲となります）。 2. 取扱説明書等の注意書により正常に使用された場合に限り、保証期間に故障した場合には、無料修理いたします。 3. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。 (1) ご使用上の誤り、あるいは取扱上の不注意、不当な修理改造による故障及び損傷。 (2) お買い上げ後の落下や輸送等で生じた故障及び損傷。 (3) 火災、地震、塩害、落雷、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）、その他不可抗力による故障及び損傷。 (4) 本書のご提示がない場合。 (5) 本書の記入事項未記入及び販売店が不明な場合。 (6) 水以外で作動させた場合の故障及び損傷。 (7) 日本国外で使用される場合。 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。（Effective only in Japan.） ※この保証書は、本書に明記した保証期間及び各条件のもとにおいて無料修理をお約束するものであり、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。 ※保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。			
発売元・お問い合わせ先		修理・交換品の送付先	
株式会社 環境保研究所 〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545-5896 TEL.0551-48-5300 FAX.0551-48-5388		株式会社 日省エンジニアリング 〒329-2134 栃木県矢板市成田 1724-3 TEL.0287-43-5770 FAX.0287-43-7497	

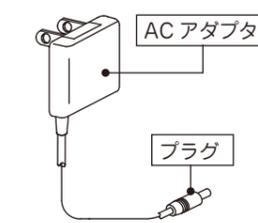
① 各部の名称と商品仕様

各部の名称

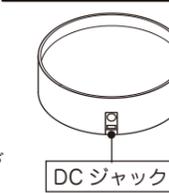
ボトル本体



AC-DC アダプタ



充電スタンド



※ボトル本体は白い枠内に置いてください。
 (4ヶ所の黒いスポンジが貼ってある面には乗せないでください。)

※コアユニット底部にシリアルナンバーが記載されています。

商品仕様

型式：AWH003-Q
 容量：300mL
 生成時間：3分30秒
 溶存水素濃度（水温20℃）：※水温により変化します。
 1200ppb以上（1.2ppm以上）
 満充電時生成回数：40回以上
 使用温度範囲：0℃～50℃
 定格電圧：7.4V
 本体重量：190g
 寸法：Φ60×L197mm
 付属品：充電スタンド AC-DCアダプター
 ハンディポーチ 取扱説明書
 材質：ボトル-PCTG樹脂
 コアユニット・キャップ-ABS樹脂
 トリニティーセラミック-シリカ系

② お使いになる前に

▲注意

水以外は生成しないでください。
ジュース、お茶、コーヒーなど

▲注意

生成する水の温度は0～50℃の範囲内でご使用ください。
 熱湯は入れないでください。

○お願い

お使いになる前に、キャップを外し、キャップ及びボトル内を軽くすすいでください。
 外周に水がかかった場合はすぐに乾いた布などで拭き取ってください。

水素水を生成する水につままして

●水道水をそのままご使用になられる場合

地域や季節により異なりますが、水道水に含まれる薬剤（塩素、アルカリ剤、凝集剤など）や不純物の影響で、容器内底部（コアユニット上部）が茶色く変色したり、水素水の生成能力が低下したりすることがありますので、こまめな洗浄を心がけてください。

●ミネラルウォーターをご使用になられる場合

硬度60未満、ナトリウムが100mL換算で1.5mg以下の軟水をご使用ください。

※＜硬度の算出式＞ 硬度(mg/L) = (カルシウム量(mg/L) × 2.5) + (マグネシウム量(mg/L) × 4.1)
 ※パソコンをお持ちの方は、検索ワード「商品名」「硬度」でお調べできるものもあります。

😊 推奨する水

- ・上記内容を満たしたミネラルウォーター
- ・活性炭を含む中空系フィルターで浄化した水
- ・弊社製品（水清水）を通した水

「水清水（みずきよめ）」は水の硬度を抑えたり、ミネラルを取り除いたりするものではありませんので、こまめな洗浄を心がけてください。

☹️ 避けていただきたい水

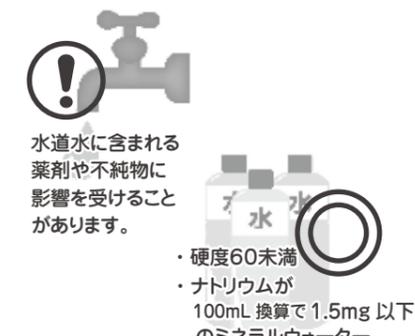
- ・海洋深層水
- ・バナジウムを含む水
- ・硬度60以上の中硬水、硬水

海洋深層水、バナジウムを多く含む水は滞留したオゾンと反応して容器内底部が茶色く変色する場合があります。硬度60以上の水は水素発生体に石灰分が付着し、水素水の生成能力が低下する恐れがあります。

☹️ 水素水生成ボタンを押しでも生成出来ない水

- ・蒸留水
- ・純水
- ・逆浸透膜でろ過した水

水素水生成ボタンを押しでもピー、ピーとブザーが鳴り、生成出来ません。（茶葉を1、2片入れるなどわずかな添加物を入れることで生成が可能になります。）



▲安全上の注意 必ずお守りください。

▲警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 本品で生成した水素水は中性で、誰でも飲用できるようにと作られておりますが、病氣治療中や妊娠中など水分摂取制限されている方は、医師に相談してください。
- 火のそば、直射日光のあたる場所、炎天下の車内、サウナなど高温の場所での使用、保管、放置はしないでください。
 発火、破裂、怪我、発熱、液漏れの原因となります。
- 火中に投じしないでください。
 内蔵電池の発火、破裂、発熱、液漏れの原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理器具や高压容器に入れしないでください。
 破裂、火災、やけど、怪我、感電の原因となります。

▲注意

誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の可能性が想定される内容を示します。

- 水素水生成時には必ずキャップを緩めるか、取り外してください。
 キャップを締めたまま生成するとボトル内が高圧となり故障する恐れがあります。
- 水が入っている状態で持ち運びされる場合は、キャップをしっかり締め、中央のベントが浮き上がっていないことを確認してください。
 ベントが浮いていると水漏れをおこす可能性があります。
- コアユニット内には電子部品が組み込まれています。
 冷蔵庫に入れるなど急激な温度変化を与えると結露が発生し誤作動や故障する恐れがあります。

- 本品はプラスチック容器ですので、取り扱いに十分注意してください。
- 分解や改造は絶対に行わないでください。
- 長期間使われない場合は、ボトル本体の水気をしっかり取り、清潔な状態で保管してください。また、コアユニット内はトリニティーセラミックが入っていますので内部も十分に乾かしてから保管してください。
- 水素発生体は極めて精密に出来ております。異物を入れたり、洗浄の際に押し込んだりしないよう十分注意してください。
- 周囲温度が0℃以下となり、生成する水に凍結の恐れがある場合は、保管場所を変えるなど、凍結防止の措置をおこなってください。
- コアユニットは電装品です。水に濡らすと発熱、ショート、故障の原因となります。
- プラスチック透明容器内に水を入れられない状態でのご使用はおやめください。
- 落下や衝撃を与えると故障の原因となりますので、取り扱いに注意してください。
- ご使用中にボトル本体やACアダプタから異臭（オゾン臭は除く）がする場合は、直ちに使用を中止しACアダプタをコンセントから外してください。
- AC-DCアダプタ、充電スタンドを水で濡らしたり、濡れた手で触れたりしないでください。
- ACアダプタの端子を金属でショートさせるなどの行為は絶対におやめください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
 発火、環境破壊の原因となります。各市町村の指示に従ってください。
- 指定のAC-DCアダプタ以外は使用しないでください。
 誤った電圧で使用すると火災、故障、やけど、感電の原因となります。

★本品は、医療機器ではありません★

③ 使いかた

⚠ 注意

- 水素水生成時には必ずキャップを緩めるか、取り外してください。
- 初めて使われる方は、充電を行ってから水素水を生成してください。

水素水を生成しましょう

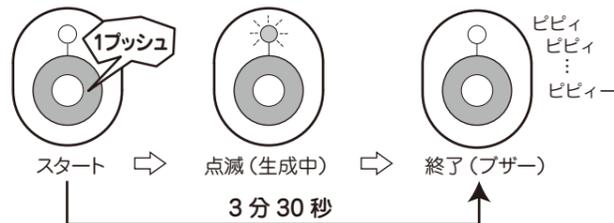
①「キャップ」を開けて「プラスチック透明容器」に水を注ぎ入れてください。

- ・水の量は目盛線の範囲内としてください。
- ・キャップは緩めるか、外したままの状態にしてください。
- ・プラスチック透明容器内に水が入っていない場合、水素水生成ボタンを押しても作動しません。

②ボトル本体を安定した平らな面に置きます。

③水素水生成ボタンを押してください(1度押し)。

水素発生体から微細な気泡が出始め、緑のLEDが点滅して生成を開始します。3分30秒後に終了のブザーが鳴ります。



生成を途中で停止する場合 → → → 長押し

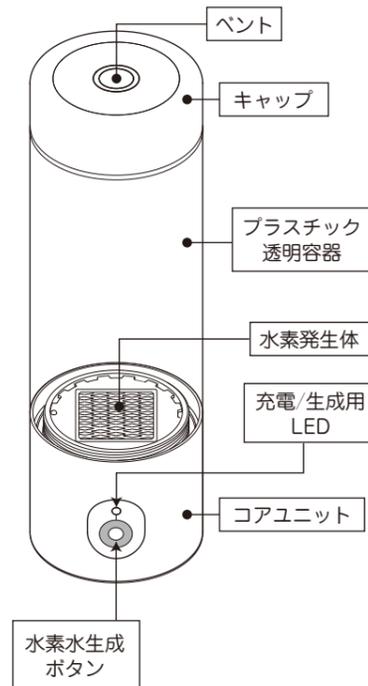
消音モードに設定する場合 → → → スタート後生成中に素早く2度押し

- ・消音モードの解除は、再度素早く2度押しをしてください。
- ・ビィと音が鳴り解除されます。

④生成された水素水は、容器から直接お飲みになるか、コップなどに移し替えてお飲みください。

水素水はこまめに飲むことが重要です。生成した水素水を50mL～100mLを数回に分けて、繰り返し飲むことが効果的な飲用方法です。

誤ってキャップを締めた状態で水素水を生成してしまった場合、**ベントが持ち上がり内部圧力を下げてくれます。**但し、これを繰り返すと故障の原因となりますので水素水生成時は十分にご注意ください。



オゾン臭が気になる場合

水素水生成中、オゾンが容器底部(コアユニット上部)に滞留し、時々大きな気泡となって浮かび上がり容器上部を除菌します。これにより生成後、直接容器からお飲みになると、底部にまだ滞留しているオゾンが浮かび上がり、臭い(オゾン臭)を伴うことがあります。気になる方は、ボトル本体を少し傾け底部に残ったオゾンを排出するか、生成した水素水を別の容器(コップなど)に移し替えて2、3分待ってからお飲みください。

水素水生成によりオゾンが発生いたしますが、発生するオゾン濃度はお体に悪い影響を与える量ではありません。臭いを吸入してお体に不調を感じられる方はご使用をお控えください。

ご購入後、初めて本品を使われるお客様へ ※長期間、ご使用にならなかった方も行ってください。

必ず、はじめに充電をしましょう

本品出荷時は、充電量がわずかなため充電(満充電)を行ってから水素水を生成してください。

- ④お手入れのしかたの「充電方法」を参照ください。
- リチウムイオン電池を使用しているため、使い切る前に継ぎ足して充電をしてください。

高濃度の水素水を生成するために行ってください

ご購入後初めて使われる場合、**3回程度繰り返し水素水の生成を行い、その後水を入れた状態で1時間程度置いてから、再び生成を行ってください。**

ご購入時、使い始めは水素発生体が乾燥状態となっており、水素濃度が低い状態で発生しております。

④ お手入れのしかた

日常のお手入れ

ボトル内は水で軽くすすいで洗浄してください。

(中性洗剤、または漂白剤を水でうすめたものをボトル内に入れて30分程つけ置きをすると除菌ができます。つけ置き後はよくすすいで乾燥させてください。)

⚠ コアユニットのお手入れ

- コアユニットは電子部品が組み込まれておりますので丸洗いはお控えください(特に水素水生成ボタン周辺は注意)。
- コアユニットとプラスチック透明容器は取り外すことができます。取付の際はしっかり締めこんでください(水漏れ注意)。
- 水素発生体を押しまないよう十分ご注意ください。
- 外周は絞ったスポンジやペーパーなどで拭き取ってください。

😊 クエン酸を使った定期的なお手入れをお勧めします!

水50mLに対しクエン酸を小さじ1/3を目安に入れて水素水生成ボタンを押し、作動させて洗浄してください。水素発生体に付着した石灰分もきれいに取り除けます。

充電方法

- 残量が低下した状態の充電時間は約4時間(充電中の水素水生成も可能です。)
- 満充電での水素水生成は40回以上可能



- リチウムイオン電池を使用しているため、使い切る前に継ぎ足して充電をしてください。ご使用後のこまめな充電をお勧めします。
- 充電時、充電スタンドよりわずかに発音音がします。 ●ご使用中にACアダプタが多少温かくなっても故障ではありません。

消耗部品と交換時期につきまして

水素発生体にはプラチナコーティングを施しており、生成時は水素の他に、プラチナが溶出して白金ナノコロイドも同時に発生しています。このためご使用を重ねると、白金ナノコロイドの発生能力が低下し、さらに満充電で生成できる回数も少なくなります。本品を最良の状態でご愛用頂くために定期的な交換をお勧めします。

交換の目安(毎日4、5回生成した場合)

1年半から2年を目安に水素発生体、内蔵電池、トリニティーセラミックのセットでの交換が必要になります(有料)。

- 生成回数が多いなど不良以外は、保証期間内でも上記の交換は有料になります。
- キャップ、プラスチック透明容器のパーツ交換も承ります。

交換はお客様自身で行わず、ボトル底面に記載されているSer No.とメンテナンス依頼書*と共に上記へ送付してください。

*メンテナンス依頼書は株式会社 環境保全研究所のHPよりダウンロードできます。

修理・交換の お問い合わせ	TEL.0551-48-5300 株式会社 環境保全研究所
修理・交換の 送付先	株式会社 日省エンジニアリング 〒329-2134 栃木県矢板市成田1724-3 TEL.0287-43-5770 FAX.0287-43-7497

⑤ こんなときは 修理・サービスをお申し付けになる前に下記の点をお調べください。

こんなときは?	もしかしたら?	処 置
水素水生成ボタンを押しても作動しない	充電切れかもしれません。 プラスチック透明容器に水は入っていますか? 蒸留水、純水、逆浸透膜でろ過した水を生成していませんか?	④お手入れのしかたの「充電方法」の手順で充電してください。 目盛線の範囲内に水を入れ、もう一度作動してみてください。 茶葉を1、2片入れるなど、わずかな添加物を入れることにより生成が可能になります。
生成中に泡が出なくなった	充電の残量がわずかかもしれません。	④お手入れのしかたの「充電方法」の手順で充電してください。
生成された水素水から臭いがする	水素生成中に発生するオゾン臭と思われる。	生成後は本体を少し傾けて底部に滞留しているオゾンを排出するか、水素水を別の容器に移し替えて2、3分間待ってからお飲みください。
水素発生体とその周辺が茶色く変色してきた	地域により水道水に含まれている薬剤や配管内の赤さびによるもの、その他海洋深層水、バナジウムを多く含む水がオゾンに反応したと思われる。	茶色く変色した部分は中性洗剤をメラミンスポンジにつけて落とすことができます。変色された状態でお使いいただいても水素水生成能力には影響ありません。
水素発生体に白い付着物がみられる	硬度60以上の水で水素水を生成したことにより石灰分が付着したと思われる。	④お手入れのしかたの「日常のお手入れ」でのクエン酸を使った方法で付着した石灰分を取り除いてください。